



仲間との貴重な出会い

いつもメンバーの豪快で楽しい笑い声が絶えない「男の料理教室 青山」のみなさん。青山いきいきプラザで月2回活動をして9年が経過しました。

活動のきっかけは区の講座の修了生が「地域の中での男性の出会いが貴重で、講座終了後も出会った仲間を大切にしたい」と考え社協に相談。同好会ではなく、地域への貢献も行うサロンとして登録をしました。



活動は打ち合わせから始まります

男性が地域と接点を持つために

「男性は地域に出たがらないから、引っ張り出す工夫をしているんだよ」と中心メンバーの一人の井上さんが話されるように、地域に男性が出てきてもらう工夫として「それぞれが出来ることで、役割を持ってもらう」ということを大切にしています。

活動当初から関わっている竹本さん。今ではサロンの最高齢です。昔は飲食関係の仕事をしており、包丁さばきはみなさんから一目を置かれています。

「こういう時には、みんなから頼られちゃうんだよ。でもそれも楽しみだし、ここに来ることが生きがいにもなっているんだよ」と笑顔で教えてくれました。



みんなで食べると、会話も盛り上がります

変わらない雰囲気のコツ

活動の中で「地域のために自分たちができること」を考え、近隣の高齢者等を招待しメンバーが作った料理と一緒に食べてもらったり、活動場所のいきいきプラザが主催している地域のイベントにも毎年協力をしたりしています。

結成当初から関わっている人たちを中心に、「気兼ねなく、お互い話ができる関係」が築かれ、その雰囲気を新たに入ってくるメンバーが引き継ぐことで変わらないものがサロンには出来上がりました。

「参加して、みんなと話ができるのが楽しみ」、「お互いが好きなことを言える」…今後はこの関係を大切にしながら、料理を通じて地域の男性とさらにつながって欲しいと思いました。



サロンで初めて出会った仲間もたくさんいます♪